

## 《南房総市の人口及び主要統計指標》

### 1. 調査の概要

#### (1) 目的

この調査は、第2次南房総市総合計画後期基本計画の策定にあたり、その基礎資料とするために作成したものです。

具体的には、総合計画審議会等の会議資料や、庁内各課における施策の検討資料として活用するだけでなく、市民ワークショップ等の参加の場に提供して市民の理解を深めることも想定しています。

#### (2) 構成

この調査は、『南房総市の人口』と、『南房総市の主要統計指標と他市比較』、から構成しています。

#### (3) 南房総市の主要統計指標と他市比較について

##### ①手法

国及び千葉県の主要な統計等から、『地勢』『人口』『産業』『就労』『生活』『安全安心』『行財政』の各項目について調査しました。また、南房総市の数値から、比較対象都市の平均値を100とする水準値を算出し、これをレダーチャートに表記しました。

##### ②数値の更新について

2020（令和2）年国勢調査結果については、確報値が公表され次第、差し替えます。

##### ③比較対象都市

比較対象都市は、次の通り、千葉県内に所在する人口10万人未満の市（19市）としました。

番号	都市名	人口（人）	番号	都市名	人口（人）
①	銚子市	59,109	⑪	袖ヶ浦市	64,940
②	館山市	45,767	⑫	八街市	68,888
③	茂原市	88,280	⑬	白井市	63,162
④	東金市	57,743	⑭	富里市	50,077
⑤	旭市	64,689	⑮	匝瑳市	35,542
⑥	勝浦市	16,817	⑯	香取市	74,330
⑦	鴨川市	32,290	⑰	山武市	50,336
⑧	君津市	83,005	⑱	いすみ市	37,143
⑨	富津市	43,436	⑲	大網白里市	48,960
⑩	四街道市	95,366	<b>本市</b>	<b>南房総市</b>	<b>37,024</b>

人口は2021（令和3）年1月1日時点

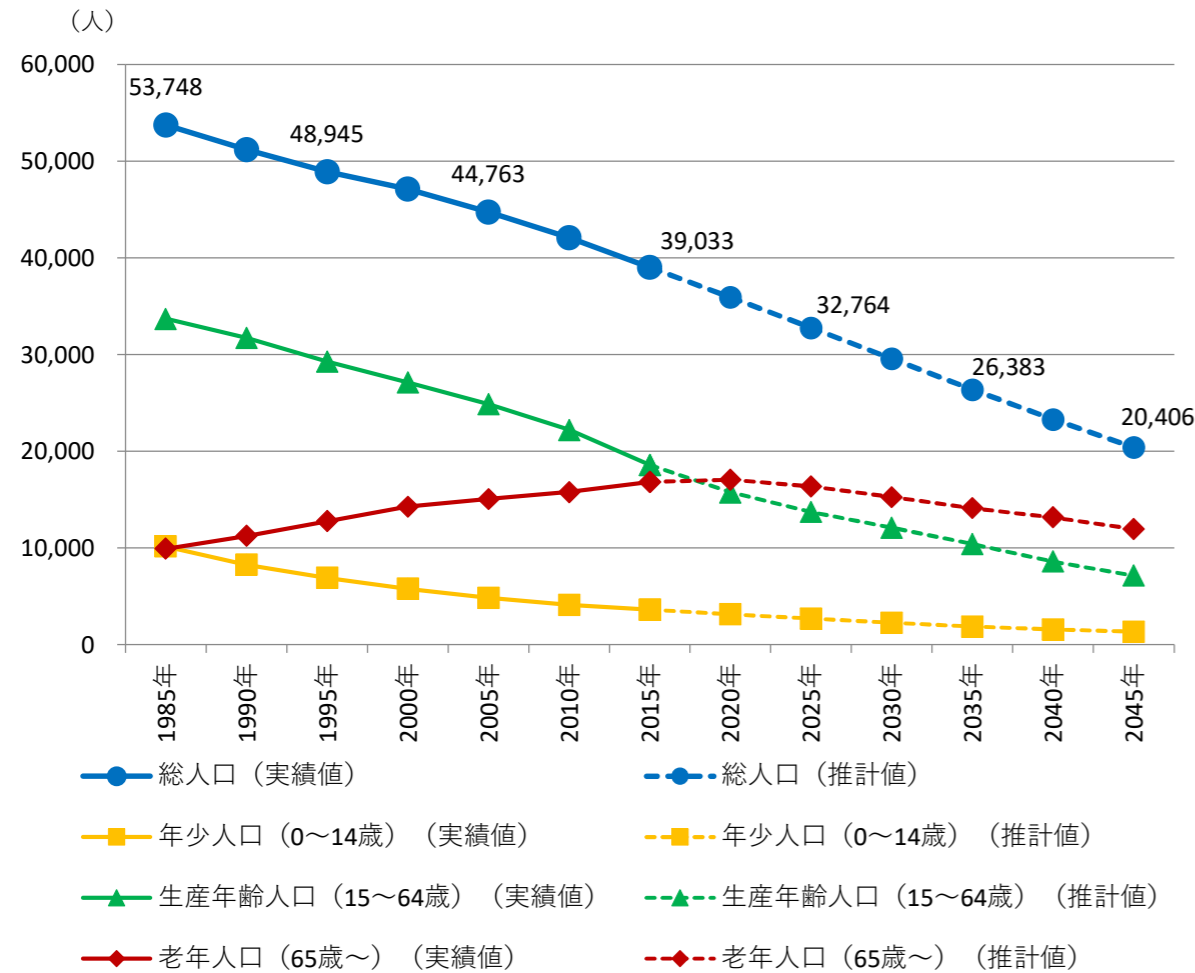
### ④比較した主要統計指標

比較した主要統計指標と出典は、次の通りです。

	番号	統計指標	出典
地勢	①	可住地面積比	国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」2020年
	②	年平均気温	気象庁「メッシュ平年値データ」1981～2017年
	③	年間降水量	気象庁「メッシュ平年値データ」1981～2017年
	④	日照時間	気象庁「メッシュ平年値データ」1981～2017年
	⑤	1m <sup>2</sup> あたり住宅地平均地価	国土交通省「都道府県地価調査」2020年
	⑥	1km <sup>2</sup> あたり可住地人口密度	東洋経済新報社算出 2020年
人口（その1）	①	人口増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2017～19年
	②	自然増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2017～19年
	③	社会増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2017～19年
	④	世帯増減率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2017～19年
	⑤	25～39歳有配偶率（男性）	総務省「国勢調査」2015年
	⑥	25～39歳有配偶率（女性）	総務省「国勢調査」2015年
	⑦	合計特殊出生率	千葉県「合計特殊出生率」2019年
人口（その2）	①	年少人口比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2020年
	②	生産年齢人口比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2020年
	③	老年人口比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2020年
	④	後期高齢者比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2020年
	⑤	平均年齢	総務省「国勢調査」2015年
	⑥	1世帯あたり人員	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2020年
	⑦	外国人人口比	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」2020年
産業	①	1次産業就業人口比率	総務省「国勢調査」2015年
	②	2次産業就業人口比率	総務省「国勢調査」2015年
	③	3次産業就業人口比率	総務省「国勢調査」2015年
	④	従業者1人あたり製造品出荷額等	経済産業省「工業統計調査」2017年
	⑤	従業者1人あたり製造品粗付加価値額	経済産業省「工業統計調査」2017年
	⑥	人口1人あたり年間商品販売額	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査（商業統計）」2016年
	⑦	売り場面積あたり年間商品販売額	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査（商業統計）」2016年
就労	①	労働力人口増加率	総務省「国勢調査」2010～15年
	②	30～49歳女性労働力率	総務省「国勢調査」2015年
	③	高齢者労働力率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」2018年度
	④	完全失業率	総務省「国勢調査」2015年
	⑤	15～29歳完全失業率	総務省「国勢調査」2015年
	⑥	昼夜間人口比率	総務省「国勢調査」2015年
	⑦	自市内従業割合	総務省「国勢調査」2015年
生活	①	納税義務者1人あたり所得	総務省「市町村税課税状況等の調」2019年
	②	持家世帯比率	総務省「国勢調査」2015年
	③	1住宅あたり延べ床面積	総務省「住宅土地統計」2018年
	④	通勤時間（持家世帯）	総務省「住宅土地統計」2018年
	⑤	空き家率	総務省「住宅土地統計」2018年
	⑥	汚水処理人口普及率	国土交通省・農林水産省・環境省調 2020年
安全安心	①	1万人あたり病床数	厚生労働省「医療施設調査」2019年
	②	65歳平均自立期間（男性）	千葉県「市町村別・年代別・性別平均自立期間」2017年
	③	65歳平均自立期間（女性）	千葉県「市町村別・年代別・性別平均自立期間」2017年
	④	千人あたり刑法犯認知件数	千葉県警算出 2019年
	⑤	千人あたり交通事故件数	交通事故総合分析センター「全国市区町村別事故件数・死者・負傷者数」2019年
	⑥	1人1日あたりごみ総排出量	環境省「一般廃棄物処理実態調査」2018年度
行財政	①	1人あたり地方税収額	総務省「市町村別決算状況調」2019年度
	②	経常収支比率	総務省「市町村別決算状況調」2019年度
	③	実質公債費比率	総務省「市町村別決算状況調」2019年度
	④	将来負担比率	総務省「市町村別決算状況調」2019年度
	⑤	財政力指数	総務省「市町村別決算状況調」2019年度
	⑥	自主財源比率	総務省「市町村別決算状況調」2019年度

## 2. 南房総市の人口

### (1) 総人口及び年齢3区分人口の実績と推計値

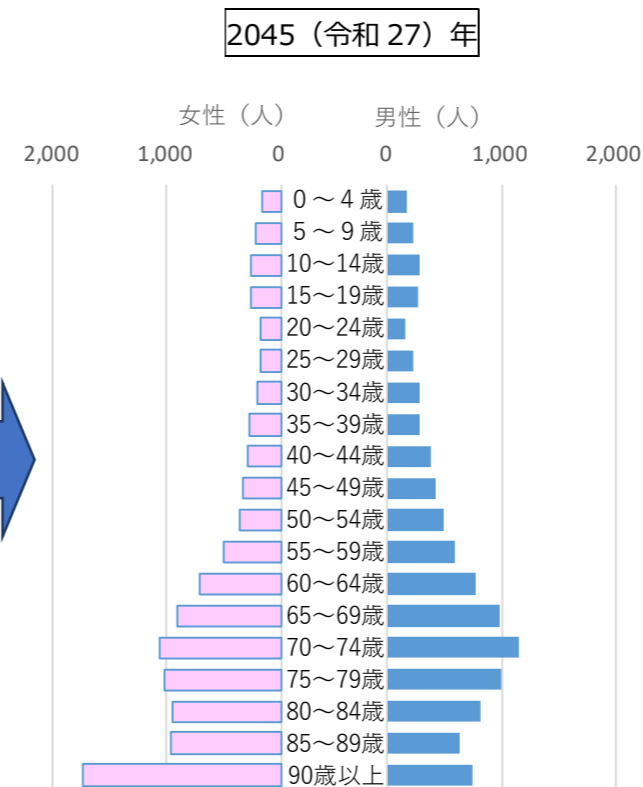
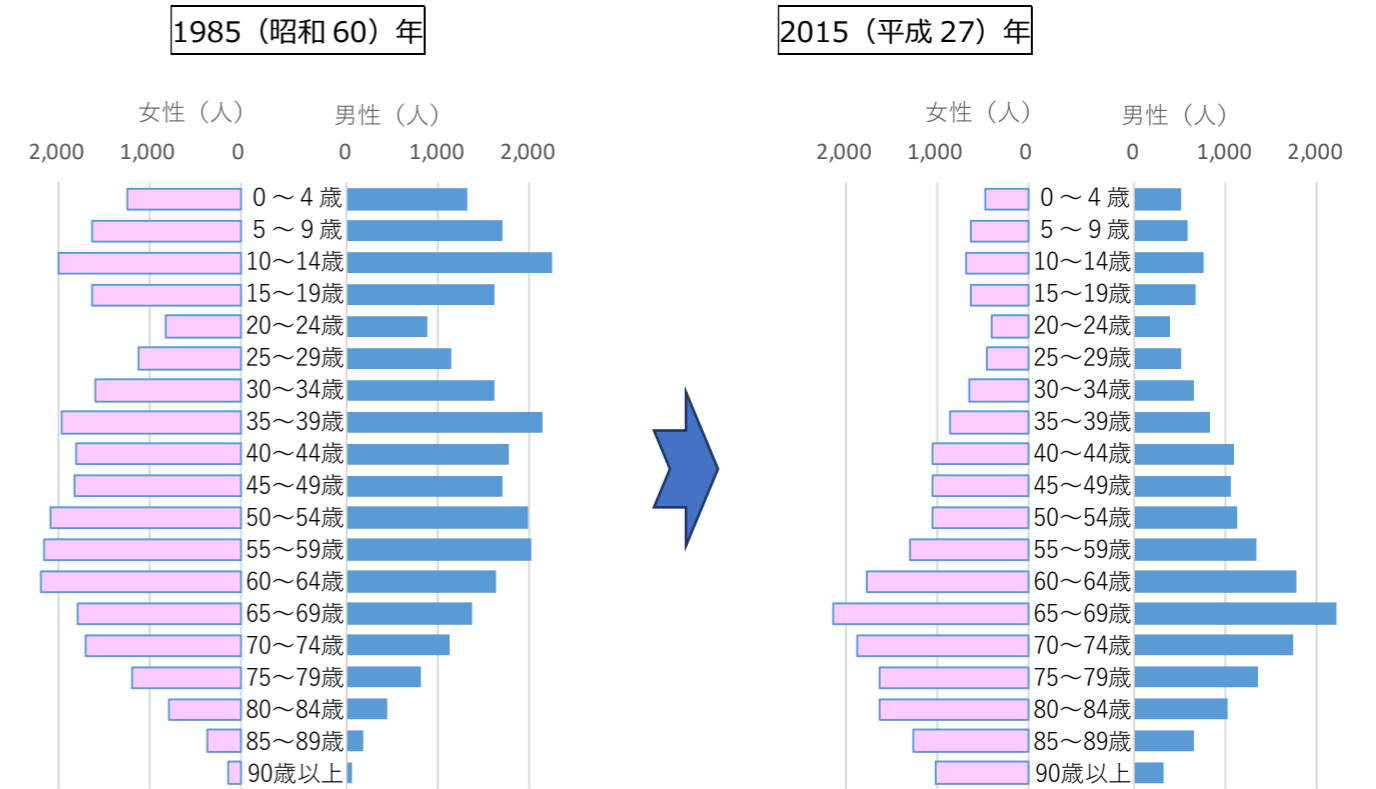


出典：総務省「国勢調査」1985（昭和60）年～2015（平成27）年

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）\_千葉県」

- ✓ 南房総市の総人口は一貫して減少傾向にあり、1985（昭和60）年には53,748人であったものが、2015（平成27）年には39,033人と、30年間に約3/4（72.6%）になっています。
- ✓ 国は、この人口減少が今後加速化すると予測しており、2045（令和27）年には20,406人と、30年前である2015（平成27）年の約半分（52.3%）になると推計しています。
- ✓ この間、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）の減少が進みます。老年人口（65歳以上）についても減少しますが、高齢化率は上昇を続け、2045（令和27）年には約6割（58.6%）に達します。

### (2) 人口構造の変化～人口ピラミッド

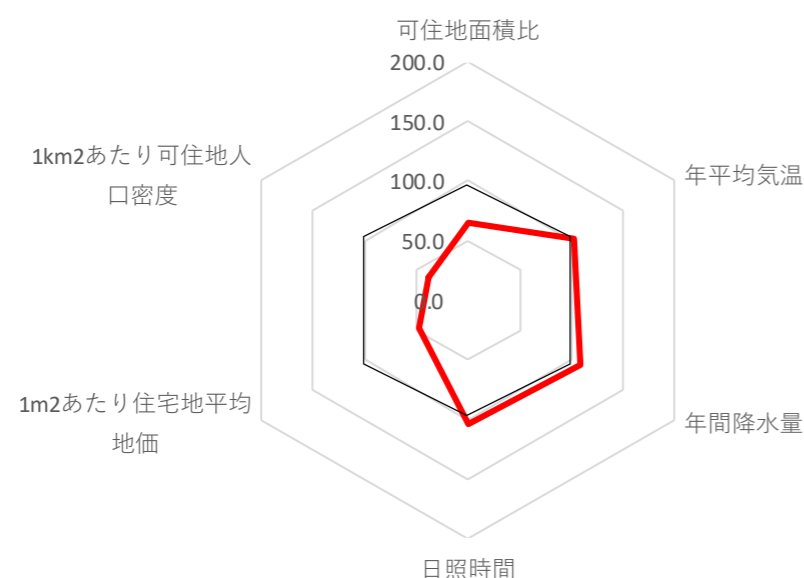


- ✓ 1985（昭和60）年には、20歳未満の若い年代層や、30～50歳代の働き盛りの年代層も多くいました。
- ✓ 2015（平成27）年には少子高齢化が進み、若い年代層が少なく65歳以上の年代層がとて多くなりました。
- ✓ 2045（令和27）年にはこの傾向がさらに進み、国は、男性では70歳代が、女性では90歳以上が最も多くなると推計しています。

### 3. 南房総市の主要統計指標と他市比較

#### (1) 地勢

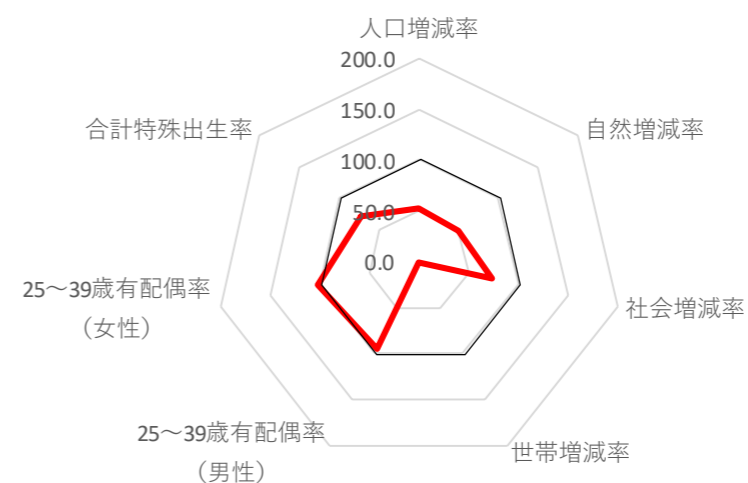
番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	可住地面積比	%	46.3	70.7	65.5
②	年平均気温	°C	15.4	15.0	102.6
③	年間降水量	mm	1,746.0	1,598.2	109.3
④	日照時間	時間	1,942.0	1,878.7	103.4
⑤	1m <sup>2</sup> あたり住宅地平均地価	万円	1.4	2.6	47.4
⑥	1km <sup>2</sup> あたり可住地人口密度	人	353.5	913.5	38.7



- ✓ 南房総市は他市と比較して山がちな地形であるため、市域の面積に対する可住地面積比は46.3%にとどまっています。
- ✓ 温暖な気候であり、年平均気温（15.4°C）・日照時間（年間 1,942.0 時間）とも、比較対象都市平均を上回っています。雨の多さ（年間 1,746.0mm）も特徴です。
- ✓ 住宅地平均地価（1.4 万円 / 1 m<sup>2</sup>）は比較対象都市平均のおよそ7割であり、住宅地が廉価で入手しやすい状況です。
- ✓ 可住地面積は限られているものの、人口が比較的少ないこともあって可住地人口密度は 353.5/km<sup>2</sup>と比較対象都市の約4割となっており、ゆとりある環境と言えます。

#### (2) 人口（その1）

番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	人口増減率	%	-5.2	-2.7	53.2
②	自然増減率	%	-4.6	-2.3	50.5
③	社会増減率	%	-0.6	-0.4	73.3
④	世帯増減率	%	-0.7	1.9	0.0
⑤	25～39歳有配偶率（男性）	%	39.3	41.6	94.5
⑥	25～39歳有配偶率（女性）	%	55.6	54.7	101.8
⑦	合計特殊出生率	—	0.85	1.17	72.5

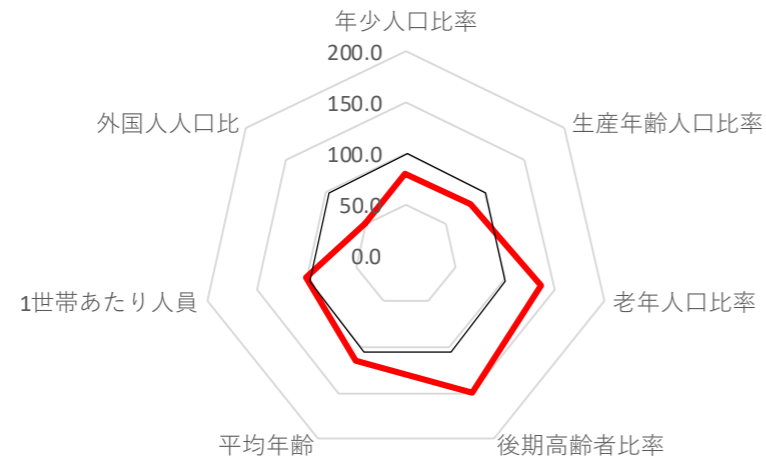


※世帯増減率の水準値は、本来マイナスとなりますが、作図の都合により0として表記しています。

- ✓ 2017（平成 29）年～2019（令和元）年の人口増減率はマイナス 5.2%に達しており、勝浦市（マイナス 7.0%）・銚子市（マイナス 6.3%）に次ぐ水準となっています。
- ✓ 社会増減率はマイナス 0.6%とほぼ転出入が均衡しており健闘していると言えますが、自然増減率（マイナス 4.6%）の高さが市の人口減に大きな影響を及ぼしています。
- ✓ 25～39 歳女性の有配偶率（55.6%）は比較対象都市平均を上回っていますが、25～39 歳男性の有配偶率（39.3%）は比較対象都市の水準を下回っています。
- ✓ 2019（令和元）年の合計特殊出生率は 0.85 に過ぎず、千葉県内の人口 10 万人未満の市（比較対象都市 19 市に南房総市を加えた 20 市）のうち最も低くなっています。

(3) 人口 (その2)

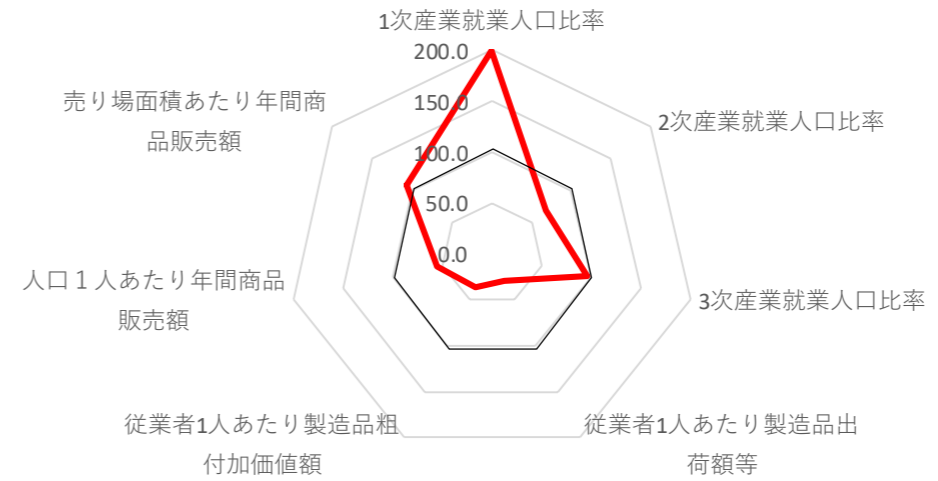
番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	年少人口比率	%	8.4	10.3	81.2
②	生産年齢人口比率	%	46.4	56.4	82.2
③	老年人口比率	%	45.3	33.3	135.9
④	後期高齢者比率	%	24.9	16.6	150.0
⑤	平均年齢	歳	55.7	48.9	114.0
⑥	1世帯あたり人員	人	2.19	2.18	100.3
⑦	外国人人口比	%	1.1	2.1	49.8



- ✓ 南房総市の年少人口比率は8.4%、生産年齢比率は46.4%に過ぎず、千葉県内の人口10万人未満の市のうち、最も低くなっています。
- ✓ 他方、老年人口比率は45.3%と50%に迫り、また、75歳以上の後期高齢者比率も24.9%に達していて、およそ2人に1人が高齢者、4人に1人は後期高齢者となっています。
- ✓ 外国人人口比は1%程度であり、富里市(5.6%)や銚子市(3.7%)と比較して、相対的に外国人が少ない市となっています。

(4) 産業

番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	1次産業就業人口比率	%	20.3	8.1	249.2
②	2次産業就業人口比率	%	15.1	22.5	67.2
③	3次産業就業人口比率	%	63.7	66.3	96.1
④	従業者1人あたり製造品出荷額等	万円	1,212.6	4,104.5	29.5
⑤	従業者1人あたり製造品粗付加価値額	万円	518.9	1,435.6	36.1
⑥	人口1人あたり年間商品販売額	千円	520.4	937.2	55.5
⑦	売り場面積あたり年間商品販売額	万円	86.8	80.5	107.9



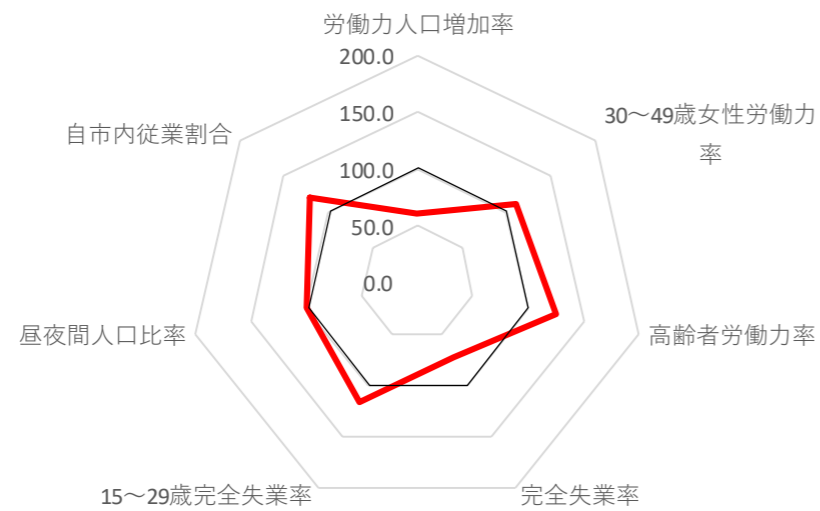
※ 1次産業就業人口比率の水準値は200を超えますが、作図の関係上200を上限として表記しています。

- ✓ 1次産業への就業人口比率(20.3%)の高さは大きな特徴であり、比較対象都市平均の2倍以上となっています。他方、2次産業への就業人口比は15.1%に過ぎません。
- ✓ 製造業では、製造品出荷額等(1,212.6万円/従業者1人)・製造品粗付加額(518.9万円/従業者1人)ともに比較対象都市平均の3~4割程度であり、規模の小ささとともに付加価値の低さも特徴的です。
- ✓ 他方、小売業では、人口に対する年間商品販売額(520.4千円/市民1人)こそ小さいものの、売り場面積あたり年間商品販売額は比較対象都市平均を上回っており、相対的に効率の良い小売業が展開されていると言えます。



(5) 就労

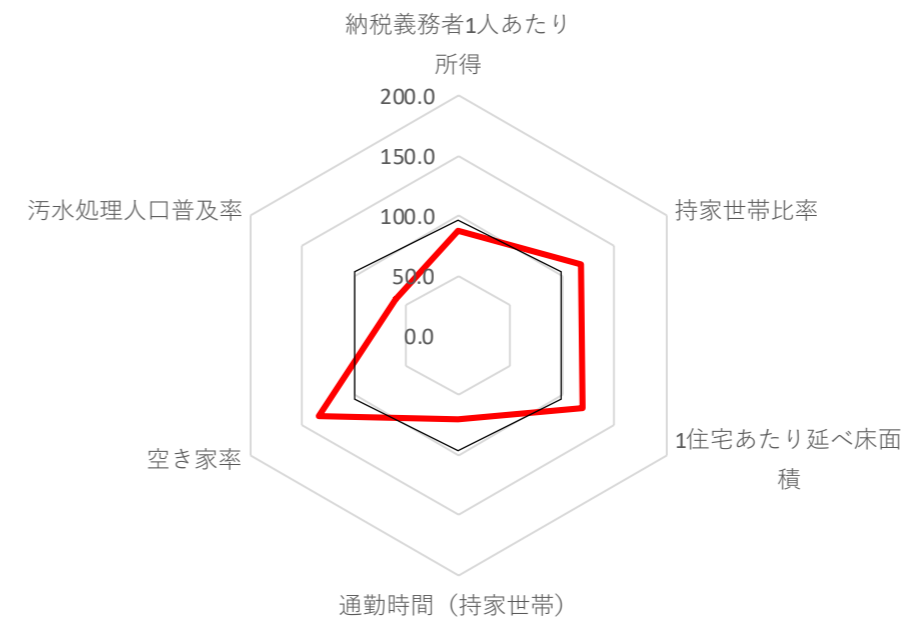
番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	労働力人口増加率	%	-9.0	-5.5	61.4
②	30～49歳女性労働力率	%	82.2	74.0	111.0
③	高齢者労働力率	%	31.4	25.2	125.0
④	完全失業率	%	3.3	4.5	72.5
⑤	15～29歳完全失業率	%	8.4	7.2	116.8
⑥	昼夜間人口比率	%	90.3	91.1	99.2
⑦	自市内従業割合	%	63.5	52.8	120.2



- ✓ 南房総市の労働力人口は、人口減少に伴って減少を続けています。2010（平成 22）年～2015（平成 27）年の増加率はマイナス 9.0%であり、およそ 1 割の減となっています。
- ✓ しかしながら、子育て期にある 30～49 歳の女性労働力率（82.2%）、及び高齢者の労働力率（31.4%）は高く、女性や高齢者も多く就労している市と見ることができます。
- ✓ 完全失業率（3.3%）は比較対象都市平均を下回っていますが、15～29 歳に限れば 8.4%と上回っており、若年層の就労促進が課題と言えます。
- ✓ 昼夜間人口比（90.3%）は比較対象都市と同水準であり、市内で従業する人の割合（63.5%）の高さが特徴的です。

(6) 生活

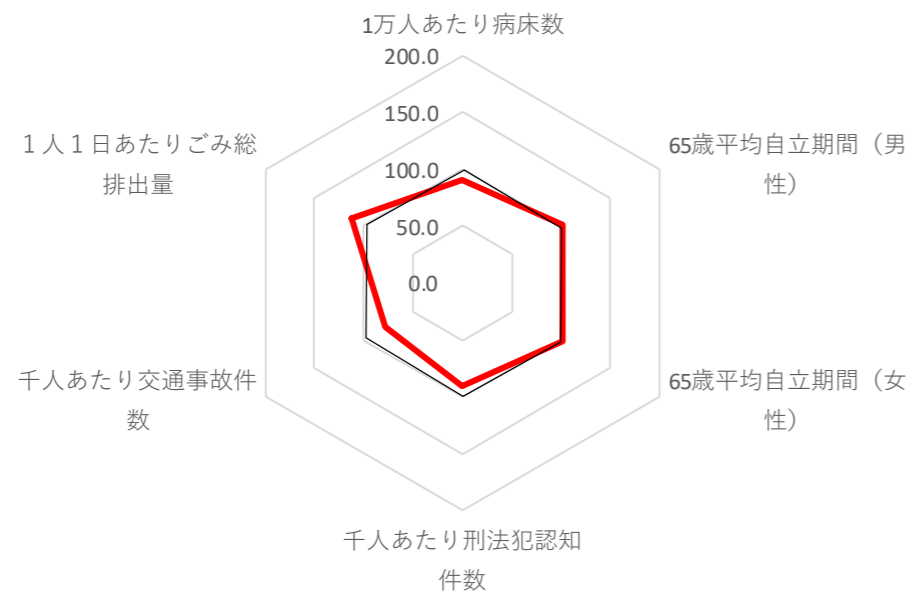
番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	納税義務者1人あたり所得	万円	254.2	293.0	86.7
②	持家世帯比率	%	92.6	78.2	118.5
③	1住宅あたり延べ床面積	m <sup>2</sup>	133.5	111.1	120.2
④	通勤時間（持家世帯）	分	21.9	31.1	70.3
⑤	空き家率	%	24.4	18.1	135.0
⑥	汚水処理人口普及率	%	41.9	68.8	60.9



- ✓ 所得（納税義務者 1 人あたり所得、254.2 万円）は比較対象都市平均未満であり、所得の増加が望まれます。
- ✓ 持家世帯比率（92.6%）・1 住宅あたり延床面積（133.5m<sup>2</sup>）とも比較対象都市平均を大きく上回っており、広い持家に住むという居住環境を実現している人が多くなっています。
- ✓ 通勤時間（21.9 分）は比較対象都市平均のおよそ 7 割で、職住近接の地域性であることがわかります。
- ✓ 他方、空き家率（24.4%）は高く、汚水処理人口普及率（41.9%）は低くなっており、これらの改善が求められます。

(7) 安全安心

番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	1万人あたり病床数	床	117.3	128.4	91.4
③	65歳平均自立期間（男性）	歳	17.8	17.6	101.5
④	65歳平均自立期間（女性）	歳	21.0	20.5	102.4
⑤	千人あたり刑法犯認知件数	件	5.4	6.0	90.8
⑥	千人あたり交通事故件数	件	2.2	2.8	77.9
⑥	1人1日あたりごみ総排出量	g	1078	954	113.0



- ✓ 病床の数（117.3床／1万人）は比較対象都市平均の9割以上であり、ほぼ水準並みです。
- ✓ 65歳平均自立期間（いわゆる健康寿命。例えば男性の場合、65歳＋17.8年＝82.8歳となる。）は男性・女性ともに比較対象都市の水準を上回っており、相対的に健康長寿のまちであると言えます。
- ✓ 犯罪の少なさ（5.4件／千人）と、交通事故の少なさ（2.2件／千人）も特徴的です。
- ✓ ごみ総排出量（1078g／1人1日）はやや多く、比較対象都市平均の約1割増しとなっています。

(8) 行財政

番号	統計指標	単位	南房総市	比較対象 都市平均	水準値
①	1人あたり地方税収額	万円	10.5	13.6	77.0
②	経常収支比率	%	93.7	94.1	99.5
③	実質公債費比率	%	7.9	6.8	116.4
④	将来負担比率	%	0.0	51.8	0.0
⑤	財政力指数	—	0.32	0.69	46.6
⑥	自主財源比率	%	32.8	48.0	68.4



- ✓ 市民1人あたり地方税収額（10.5万円）は比較対象都市水準の約8割にとどまっており、千葉県内の人口10万人未満の市（比較対象都市19市に南房総市を加えた20市）のうち、最も低い水準となっています。
- ✓ 経常収支比率（93.7%）こそ比較対象都市の水準をわずかに下回っているものの、実質公債費比率（7.9%）は水準以上となっています。
- ✓ 財政力指数（0.32）及び自主財源比率（32.8%）は、ともに比較対象都市の水準を大きく下回っています。
- ✓ 将来負担比率は0であり、将来負担を抑制し、健全な財政状況であると言えます。